



代々木果迺会「藤戸」

令和五年九月十七日(日)

於代々木能舞台午後五時半始

(五時開場・八時頃終演予定)

代々木果迺会
お申込フォーム↓



仕舞

采 女
天 鼓

小早川泰輝
観世 淳夫

【仕舞】

采 女 小早川泰輝
天 鼓 観世 淳夫
地謡 北浪 貴裕
武田 友志
長山 桂三
小早川康充

【能 藤戸】

シテ 漁師ノ壁 小早川 修
ワキ 佐々木盛綱 宝生 常三
ワキツレ 従 者 館田 善博
梅村 昌功
野村 万蔵
一噌 隆之
小鼓 大倉源次郎
大鼓 柿原 弘和
後見 観世 鏡之丞
浅見 観世 淳夫
地謡 馬野 正基
北浪 貴裕
武田 友志
長山 桂三
小早川泰輝

間

盛綱ノ下人

能 藤戸

小早川 修



告知動画

藤戸 (ふじと) あらすじ

藤戸の先陣による恩賞で備前児島を所領した佐々木盛綱が藤戸の浦に赴任した。盛綱は訴訟ある者は申し出よと触れを出す。そこへ一人の老母が来て、我が子の漁師は罪科もないままに盛綱に殺害されたと嘆き訴える。老母の訴えを当初は無視し拒絶した盛綱であったが、哀れな老母が不憫と思い直し、先陣の秘密を守るために漁師を殺害した経緯を語り、自らの非を詫げる。そして漁師一家の身の安定と漁師の弔いを約束し、老母を帰らせる。(中入)

盛綱が藤戸の浦にて管絃講を立て弔っていると、苦患に満ちた表情で漁師の亡霊が現れた。亡霊は殺害された恨みと苦みを説き、恨みの果てに悪心の水神と化して盛綱への恨みを晴らそうしたが、思わぬ盛綱の弔いによって仏果を得、魂は彼岸へ渡り成仏していった。

主催 代々木果迺会

お問い合わせ

Mail info@yoyoginoubutai.com

FAX 03-3370-2757・TEL 090-1208-8453 (小早川)

前売券※当日券 1,000 円増

一般 5,500 円

学生 3,000 円

ミニ・レクチャー付 (二十分) 講師 深澤 希望